



次のすこやかさへ、一步一步

# Yomeishu



シャクヤク

## 第97期 株主通信

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)



## 養命酒製造株式会社



証券コード：2540

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
ここに、養命酒製造株式会社の第97期（平成26年  
4月1日から平成27年3月31日まで）の営業の概況  
をご報告いたします。

平成27年6月

代表取締役社長

塩澤 太 朗



## 第97期の業績の概要

当事業年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により株価の上昇や企業収益、雇用情勢の改善の動きが見られたものの、円安の進行や消費税率引上げによる個人消費への影響もあり、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、生活防衛意識や節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とする中期経営計画の最終年度として、「養命酒」の効率的かつ効果的な販売促進活動により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に努めるとともに、この収益基盤に基づき、新商品の開発、販売に注力するなど、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」の各施策に取り組んでまいりました。

当事業年度の業績は、「養命酒」の売上は前年同期を

やや下回ったものの、新商品等の売上が寄与したことにより売上高は13,149百万円（前年同期比1.4%増）となり、営業利益は2,297百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益は2,595百万円（前年同期比6.0%増）となりました。当期純利益につきましては、社有地売却に伴う固定資産売却益260百万円を特別利益に計上し、1,857百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

### ■中期経営計画最終年度

- 「養命酒」の売上は前年同期をやや下回ったものの、新商品等の売上が寄与
- 社有地売却に伴う固定資産売却益260百万円を特別利益に計上

売上高	13,149百万円 (前年同期比1.4%増)
営業利益	2,297百万円 (前年同期比4.3%増)
当期純利益	1,857百万円 (前年同期比12.5%増)

## 養命酒関連事業

養命酒関連事業売上高 12,901百万円  
(前年同期比0.9%増 ↑)

### ◆ 養命酒

売上高 11,817百万円  
(前年同期比0.5%減 ↓)

#### ・養命酒（国内）

国内における「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持することを目的に、新規顧客の獲得と継続的な飲用に繋げるための効率的な販売促進活動に努めました。「疲れと胃腸不調」、「冷えて寝つけない」などの「養命酒」独自の価値である複合症状の解決を分かりやすく訴求しました。また、提供番組へのテレビ広告、テレビスポット広告、交通広告、ラジオ広告、雑誌とのタイアップ広告等の各種広告を実施するとともに、店頭における販売促進活動を含めたクロスメディアを効率的に展開し、更に話題を喚起するためのウェブキャンペーン、「養命酒」への理解を促進するための健康セミナー等を実施しました。4月から5月にかけて消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による影響を受けたものの、これらの施策により、国内における「養命酒」の売上高は11,324百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

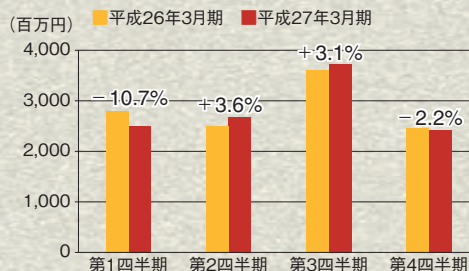
#### ・養命酒（海外）

海外における「養命酒」につきましては、東南アジア諸国を中心として「養命酒」の理解と知名度の向上を目指し、各国の市場環境に即した販売促進活動を構築するための市場調査を実施し、現地輸入販売店を通じた店頭での大量陳列による露出向上や試飲会などの店頭販売促進活動、ウェブを利用した広告活動やプレゼントキャンペーンを実施しました。また、最大の商戦期である春節においてテレビ、ラジオ、交通広告等を実施しました。海外における「養命酒」の売上高は493百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

### 養命酒のテレビ広告イメージ



### 「養命酒」（国内）の売上高推移



「養命酒」（国内）の売上高は第1四半期（4－6月）において消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受け前年同期比10.7%減となりましたが、通期では1.3%減まで回復しました。

### ◆ その他商品・サービス

売上高 1,083百万円  
(前年同期比18.9%増 ↑)

#### 【主要商品・サービスの状況】

##### ・ハーブのお酒

「ハーブのお酒」につきましては、「ハーブの恵み」の売上は前年同期を下回ったものの、平成26年4月の「フルーツとハーブのお酒スパークリング」3種類などの発売、店頭での試飲会の実施、季節毎の記念日企画やプレゼントキャンペーンの提案等小売店と連携した店頭販売促進活動の実施、平成27年3月の商品パッケージのリニューアルや新たなフレーバーの商品の追加により、「ハーブのお酒」の売上高は336百万円（前年同期比7.6%増）となりました。



「フルーツとハーブのお酒」シリーズ

##### ・食べる前のうるる酢

「食べる前のうるる酢」につきましては、平成26年3月より「食べる前のうるる酢ビューティー」を関東1都6県のスーパーマーケットで発売し、第1四半期においてテレビスポット広告による認知度の向上を図るとともに、スーパーマーケット店頭での試飲会に注力しました。また、ウェブ広告、積極的なサンプリング活動や通信販売の強化、販路の拡大に努め、平成27年3月には商品パッケージのリニューアルを行い、全国

販売を開始しました。「食べる前のうるる酢」の売上高は「食べる前のうるる酢ビューティー」の売上が寄与し156百万円（前年同期比113.5%増）となりました。



「食べる前のうるる酢」シリーズ

##### ・くらすわ

「くらすわ」につきましては、レストランの売上は天候不順の影響もあり、前年同期を下回ったものの、ショップの売上は販売分析に基づいた商品の入替や利益率の高いオリジナル商品の開発・投入により前年同期をやや上回り、くらすわ商品の卸売などの販路の拡大に取り組んだことにより、売上高は430百万円（前年同期比19.7%増）となりました。



和漢素材入り鍋の素  
「黒養なべ」左、「白養なべ」右

## その他

### ◆ 不動産賃貸、太陽光発電

売上高 247百万円  
(前年同期比37.7%増 ↑)



## 新中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

前中期経営計画（平成24年度～平成26年度）では、「持続的成長に向けた事業構造の変革」の基本方針の下、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」などの6つの経営戦略を推進し、売上高130億円以上（「養命酒」110億円、「その他」20億円）、営業利益率10%以上を目指して取り組んでまいりました。

前中期経営計画最終年度である平成27年3月期の実績は、売上高131億円、「養命酒」の売上高118億円、営業利益率17.5%と目標を達成することができました。一方、「養命酒」以外の売上20億円に対しては13億円の売上にとどまり、経営課題と認識しております。

中期経営計画（平成27年度～平成29年度）では、基本方針「持続的成長に向けた新規事業領域の確立」

の下、新たに策定した事業ビジョン「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」に基づき、「養命酒」、新たな成長分野として取り組んでいる、「エイジングケア」、「酒類」、「くらすわ・養命酒健康の森」、「海外」の各分野の事業活動を推進してまいります。

中期経営計画最終年度である平成30年3月期には、売上高145億円以上（「養命酒」120億円、「その他」25億円）、営業利益率15%以上、ROE5%の目標の達成を目指してまいります。

また、中期経営計画の初年度にあたり、「次のすこやかさへ、一歩一歩」というタグラインを策定しました。今後は、このタグラインを様々なコミュニケーションの中で統一的に使用することで、企業ブランド価値の向上を目指してまいります。（最終ページをご参照ください）

### 前中期経営計画の目標と実績

#### 【数値目標】

売上高130億円以上  
養命酒110億円  
その他20億円  
営業利益率10%以上



#### 【平成27年3月期】

売上高131億円  
養命酒118億円  
その他13億円  
営業利益率17.5%

### 経営理念とあるべき姿

#### 【経営理念】

生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する

#### 【企業ビジョン】

健全で、強い、良い会社

#### 【事業ビジョン】

ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する

### 中期経営計画（平成27年度～平成29年度）

#### 【基本方針】

持続的成長に向けた新規事業領域の確立

#### 【目標とする経営指標】

- 売上高145億円以上  
養命酒120億円（国内115億円、海外5億円）  
その他25億円
- 営業利益率15%以上
- ROE5%

#### 【経営戦略】

1. 新規事業領域の成長基盤の構築
2. 薬用養命酒の収益体質の維持
3. 生活者視点に立った事業活動を基盤としたCSR経営の推進

## 経営戦略の概要

### ①新規事業領域の成長基盤の構築

新たな成長戦略として取り組んでいる「エイジングケア」、「酒類」、「くらすわ・養命酒健康の森」、「海外」の各分野において、商品の開発力や販売力を強化し、中期経営計画最終年度には各事業領域における事業の確立を目指します。

また、中期経営計画の一層の推進のため、大正製薬株式会社をはじめとして企業、研究機関等との連携を強化し共同の技術・研究協力により商品開発や販売強化を図ります。

### ②薬用養命酒の収益体質の維持

「養命酒」の販売を堅持するため、差別化できる顧客価値を明確にし、新規飲用者の獲得と既存飲用者の維持に向けた効率的かつ効果的なマーケティング戦略を構築します。

また、「養命酒」の収益体質を維持するため、事業効率・生産性を高めるため仕入・製造・販売・マーケティング・管理が一体となり収益構造の一層の改善を図ります。

さらに、カントリーリスクや資源の枯渇などに対応するため、原材料の安定的・長期的調達を確保できる体制の構築を進めます。財務体質の維持、改善については、保有資産を総合的に見直し、より有効的な活用を図ります。

### ③生活者視点に立った事業活動を基盤としたCSR経営の推進

生活者視点に立ち、品質や安全保証の信頼性を向上し、有用な商品、サービスの提供に努め、厳しい経済状況や経営環境の変化に対応し、新規事業領域の確立を推進するための意思決定の効率化と迅速化、執行体制の強化、高度で透明性と公正性のある経営体制の構築に取り組みます。

また、従業員の働きがいの向上を図り、多様な価値観を認め、新規事業領域の確立を通じた自立した人材の育成を図るとともに積極的な企業風土を醸成します。

さらに、社会に必要とされる企業として、健康生活に貢献する情報発信や環境、自然、循環型社会への貢献を意識した活動等を行い、顧客や従業員、取引先、株主、地域社会をはじめとする様々なステークホルダーの皆様に事業活動に伴う取組みに関して一層の理解の促進を図るとともに、事業のパートナーとして適切かつ必要な対応と責任を果たします。

## 持続的成長に向けた積極的投資

健全な財務体質を維持しながらも、新規事業領域の確立のための販売促進活動や研究開発、駒ヶ根工場における生薬保管庫の新設など、持続的成長に向けた積極的な投資を行ってまいります。

## 配当方針

今後の配当につきましては、各事業年度の業績等を考慮して、当期純利益に対する配当性向30%程度を目安に実施してまいりたいと考えております。また、原則として1株当たり年間配当金の下限を36円※とし、業績の拡大に応じた利益配分を基本としながら安定的な配当を継続することにも配慮してまいります。

※平成27年10月1日に2株を1株に併合した場合の配当金額です。

## CSR経営の推進

CSR経営の推進としては、健康セミナーの開催や健康情報の発信により豊かな健康生活に貢献してまいります。

また、「養命酒」の生薬の搾りかすを活用した循環型の事業を構築してまいります。

鶴ヶ島太陽光発電所に併設の環境教育施設「eコラボつるがしま」における環境教育や地域の防災拠点としての活用、駒ヶ根工場「養命酒健康の森」では多様性のある森林の保護に努めてまいります。

## HER HERBS [ハー・ハーブス]



甘辛度／やや甘口  
 おすすめの飲み方／よく冷やして  
 甘味果実酒、アルコール分：11%  
 300ml／希望小売価格390円（税別）

- ・ロゼワイン&ザクロ  
 ハーブによって引き立つ、ロゼの爽やかな飲み口と豊かな味わいはオーソドックスなトマトソースやクリーム系の料理によく合います。
- ・白ワイン&ローズヒップ  
 清涼感のある爽やかな甘みと香りですっきりとした飲み口が特徴。スパイシーな料理や魚介類によく合います。

## フルーツとハーブのお酒 グレープフルーツとジンジャー



ジンジャーなど5種のハーブによる「すっきり・温める・ほぐす」の3つの恵みをグレープフルーツのお酒ですっきりと仕上げました。

太陽の光を浴びたグレープフルーツの香りで、開放感あふれるリラックスタイムをどうぞ。

「フルーツとハーブのお酒」：左  
 リキュール、アルコール分：10%  
 300ml／希望小売価格 380円（税別）

「フルーツとハーブのお酒 スパークリング」：右  
 リキュール（発泡性）①、アルコール分：3%  
 250ml／希望小売価格 170円（税別）

## CSR活動

健康セミナーを開催し、生活者の皆様に対して健康情報を発信しています。冷え症の女性を対象とした健康セミナーでは、東洋医学の側面からの養生法などを紹介しています。そのような健康情報の提供によって当社をより身近に感じていただき、生活者の皆様との相互のコミュニケーションを深めていきたいと考えています。



健康セミナー

鶴ヶ島太陽光発電所（埼玉県鶴ヶ島市）では、環境教育施設eコラボ（エコラボ）つるがしまを併設しています。地域の小学生の社会学習としての見学会や、地域の皆様や鶴ヶ島市と連携したイベントなどを開催しています。eコラボ施設内にも様々な工夫を凝らし、子どもがより親しみをもって環境について学べるように努めています。

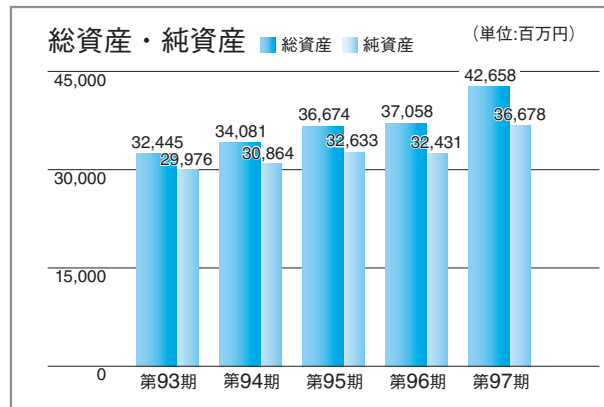
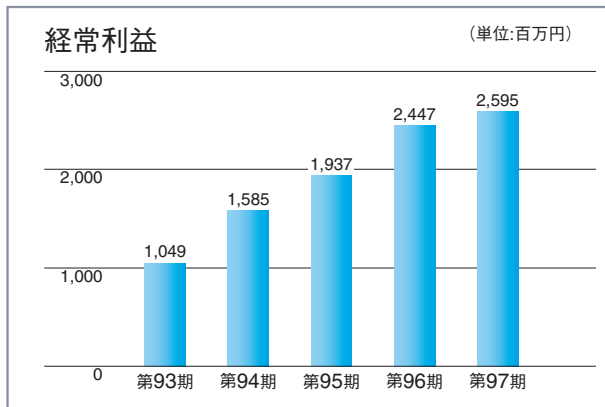
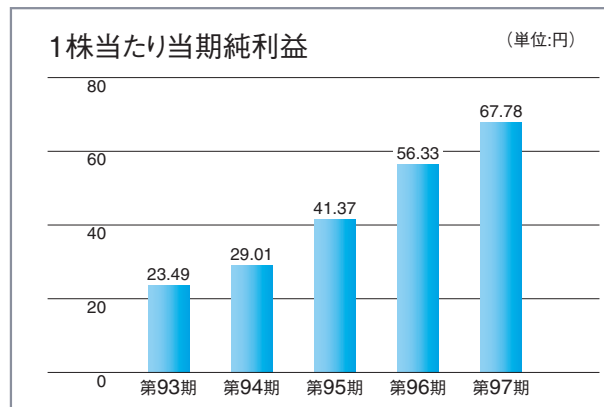
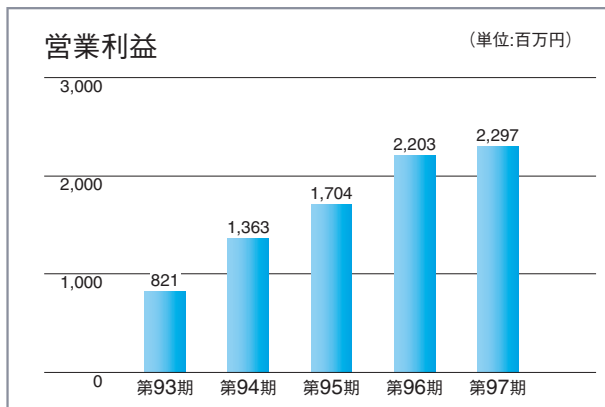
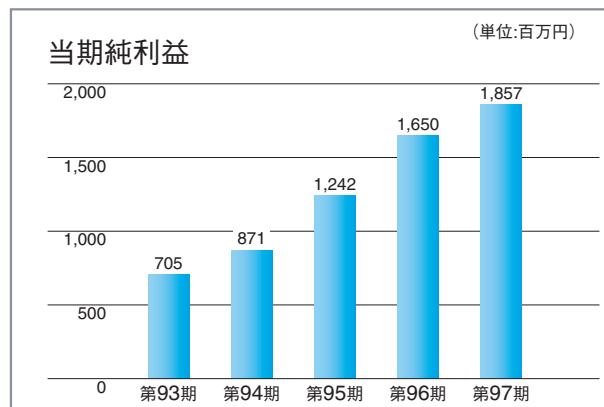
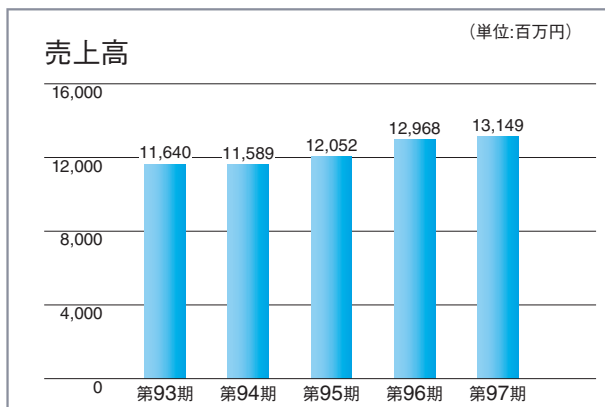


小学生の社会科見学（鶴ヶ島太陽光発電所）

養命酒健康の森（長野県駒ヶ根市）では、年間を通じて地域の皆様に訪れていただけるような、自然と親しみ、生薬について学べるイベントを開催しています。特に5月下旬から約1週間行う「芍薬フェスタ」は、多くのお客様にお越しいただき、約3,000株の芍薬の花を楽しむことができる、地域に密着したイベントに成長しています。また、森を散策して採取した素材を使った「森の苔玉づくり」、「森のポストカードづくり」は人気のイベントです。「見て、聞いて、触って、楽しんでいただきたい・・・」。そんな願いを込めて、お客様とのコミュニケーションを創出していきたいと考えています。

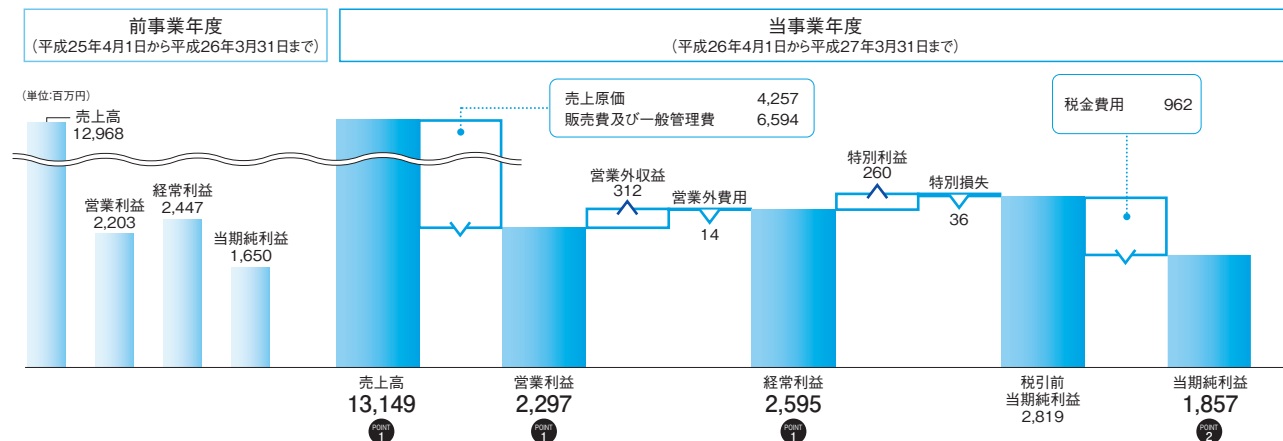


芍薬フェスタ





## 損益計算書の概要



POINT 1

### 売上高／営業利益／経常利益

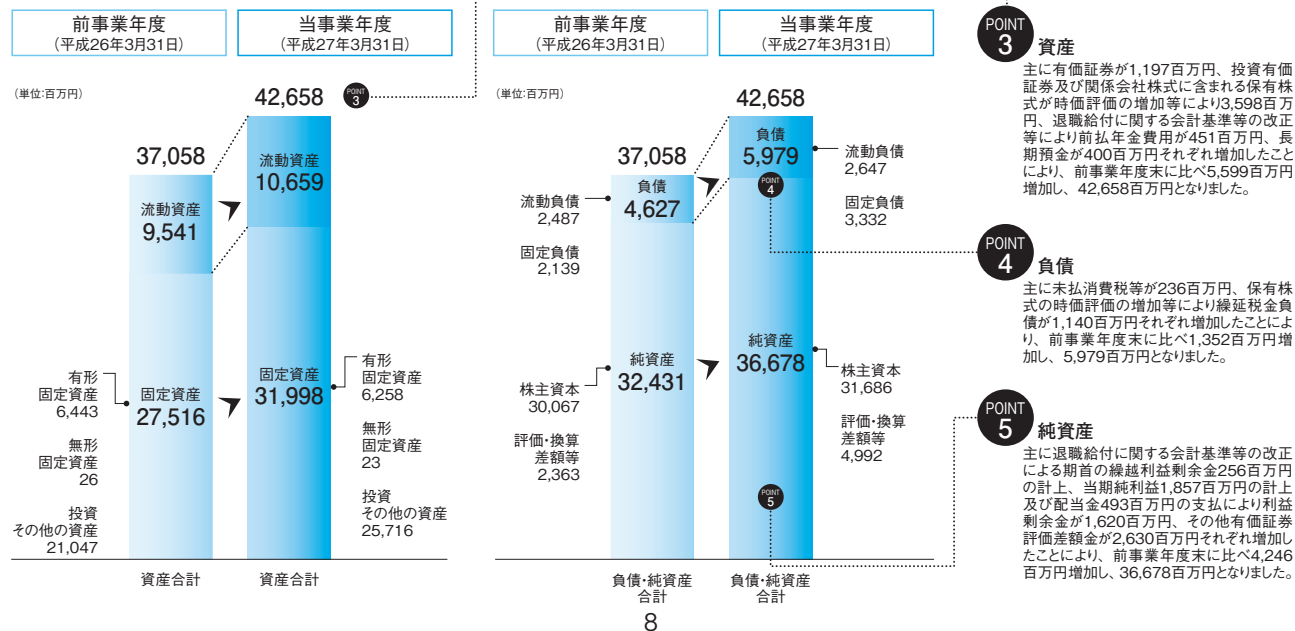
「養命酒」の売上は前年同期をやや下回ったものの、新商品等の売上が寄与したことにより売上高は13,149百万円（前年同期比1.4%増）となり、営業利益は2,297百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益は2,595百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

POINT 2

### 当期純利益

社有地売却に伴う固定資産売却益260百万円を特別利益に計上し、1,857百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

## 貸借対照表の概要



POINT 3

### 資産

主に有価証券が1,197百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の増加等により3,598百万円、退職給付に関する会計基準等の改正等により前払年金費用が451百万円、長期預金が400百万円それぞれ増加したことにより、前事業年度末に比べ5,599百万円増加し、42,658百万円となりました。

POINT 4

### 負債

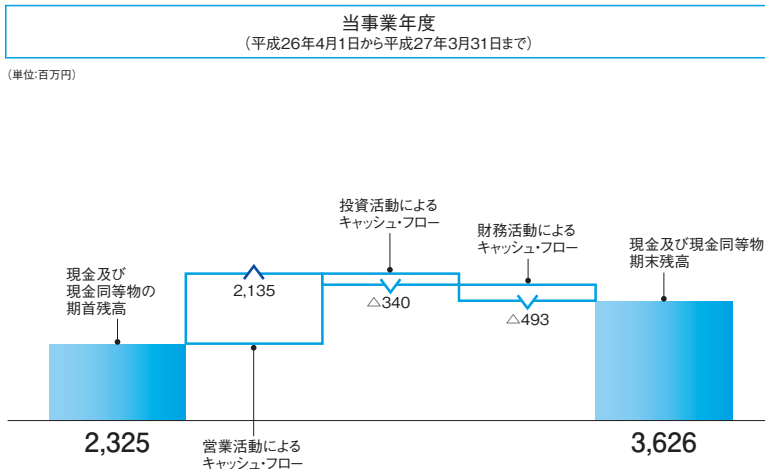
主に未払消費税等が236百万円、保有株式の時価評価の増加等により繰延税金負債が1,140百万円それぞれ増加したことにより、前事業年度末に比べ1,352百万円増加し、5,979百万円となりました。

POINT 5

### 純資産

主に退職給付に関する会計基準等の改正による期首の繰越利益剰余金256百万円の計上、当期純利益1,857百万円の計上及び配当金493百万円の支払により利益剰余金が1,620百万円、その他有価証券評価差額金が2,630百万円それぞれ増加したことにより、前事業年度末に比べ4,246百万円増加し、36,678百万円となりました。

## 》キャッシュ・フロー計算書の概要



POINT  
6

### キャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は、2,135百万円（前年同期比8.1%増）となりました。これは主に税引前当期純利益2,819百万円、減価償却費488百万円等の増加要因と、未払費用の減少額153百万円、法人税等の支払額872百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、340百万円（前年同期比24.9%減）となりました。これは主に定期預金の純減による収入452百万円、有価証券の償還による収入1,800百万円、有形固定資産の売却による収入274百万円により増加した一方で、有形固定資産の取得による支出362百万円、投資有価証券の取得による支出2,501百万円により減少したことによるものであります。

財務活動の結果減少した資金は、493百万円（前年同期比81.5%減）となりました。これは主に配当金の支払額491百万円によるものであります。

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ1,300百万円増加し、3,626百万円となりました。

## 会社概要

(平成27年6月26日現在)

社名	養命酒製造株式会社 YOMEISHU SEIZO CO., LTD.
本店所在地	〒150-8563 東京都渋谷区南平台町16番25号 電話 03-3462-8111 FAX 03-3462-8340 URL <a href="http://www.yomeishu.co.jp/">http://www.yomeishu.co.jp/</a>
事業所	大阪支店、駒ヶ根工場、商品開発センター 商業施設くらすわ、鶴ヶ島太陽光発電所
設立	大正12年（1923年）6月20日
資本金	16億5,000万円
上場	東証市場第1部、名証市場第1部
事業内容	養命酒、酒類及び医薬品等の製造・販売 飲食店及び売店の経営 不動産の賃貸 自然エネルギー等による発電事業及び電気の供給、販売等に関する業務
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数	266名（平成27年3月31日現在）

(平成27年6月26日現在)

役員	代表取締役会長	川村昌平
	代表取締役社長	塩澤太朗
	専務取締役執行役員	田中英雄
	常務取締役執行役員	吉松敬雄
	常務取締役執行役員	神林敬
	取締役執行役員	大森勉
	取締役執行役員	清水政明
	取締役執行役員	丸山明彦
	取締役執行役員	宮下克彦
	取締役執行役員	斉藤隆
	取締役	※1 白井汪芳
	常勤監査役	宮下久宜
	常勤監査役	※2 井川明
監査役	※2 笠原孟	
監査役	※2 鈴木茂夫	

※1 社外取締役であります。

※2 社外監査役であります。

## ■ 上位10名の株主（平成27年3月31日現在）

株主名	持株数
大正製薬ホールディングス株式会社	6,600千株
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,350
株式会社八十二銀行	1,300
トーア再保険株式会社	1,096
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	730
大同生命保険株式会社	603
株式会社三井住友銀行	529
藤澤玄雄	450
キッコーマン株式会社	442
株式会社十八銀行	423

（注）当社は、自己株式を5,598千株保有しておりますが、上記上位10名の株主からは除外しております。

## ■ 株主メモ

証券コード	2540
一単元の株式数	1,000株
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
同総会基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
公告掲載方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.yomeishu.co.jp/">http://www.yomeishu.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

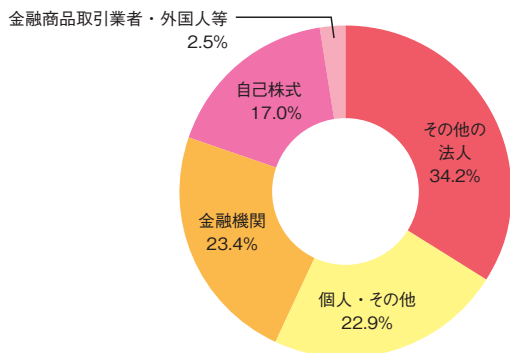
## ■ 株式に関するお手続きについて

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>証券会社の口座に当社株式が記録されている株主様 口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ります。</li> <li>特別口座に当社株式が記録されている株主様 上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。</li> </ul>
未受領配当金のお支払い	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

## ■ 株式の状況（平成27年3月31日現在）

発行可能株式総数	132,000,000株
発行済株式の総数	33,000,000株
株主数	3,009名

## ■ 所有者別株式分布状況（平成27年3月31日現在）



## ■ 株式併合及び単元株式数の変更に関するご案内

当社は、平成27年10月1日をもって当社普通株式2株を1株に併合し、単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。

なお、この株式併合及び単元株式数の変更に伴う株主様による特段のお手続きの必要はありません。

### 【主なスケジュール】

平成27年9月25日	1,000株単位での売買最終日
9月28日	100株単位での売買開始日
10月1日	株式併合及び単元株式数の変更の効力発生日

### 【株式併合に関するお問い合わせ先】

株式併合に関するご不明な点は、お取引の証券会社又は左記株主名簿管理人までお問い合わせください。

### 【株式併合による影響等】

株式併合により、発行済株式総数が2分の1に減少することとなりますが、純資産等は変動しませんので、1株当たりの純資産額は2倍となり、株式市況の変動など他の要因を除けば、当社株式の資産価値に変動はありません。

### 【1株未満の端数が生じる場合の処理】

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主様に対して、端数の割合に応じて分配いたします。なお、端数株式の処分代金につきましては、平成27年12月上旬頃、お支払いさせていただく予定しております。



次のすこやかさへ、一步一步

# Yomeishu

時代をこえて受け継がれ、  
積み重ねてきた知恵と技術を大切にしながらも、  
私たちが立ち止まることはありません。

次のすこやかさへ、一步一步

お客様のすこやかな日々に関わり添うために  
私たちは、たゆまぬ歩みで  
新しい可能性を追求し続けます。

当社のIRサイトでは、株主・投資家の皆様に向けて「企業情報」「経営方針」「IR資料」などの情報を掲載しています。より多くの皆様にご利用いただけるよう、今後も内容の充実に努めてまいります。



<http://www.yomeishu.co.jp/company/>



**養命酒製造株式会社**

東京都渋谷区南平台町16番25号

T E L : 03-3462-8111 (代表) F A X : 03-3462-8340